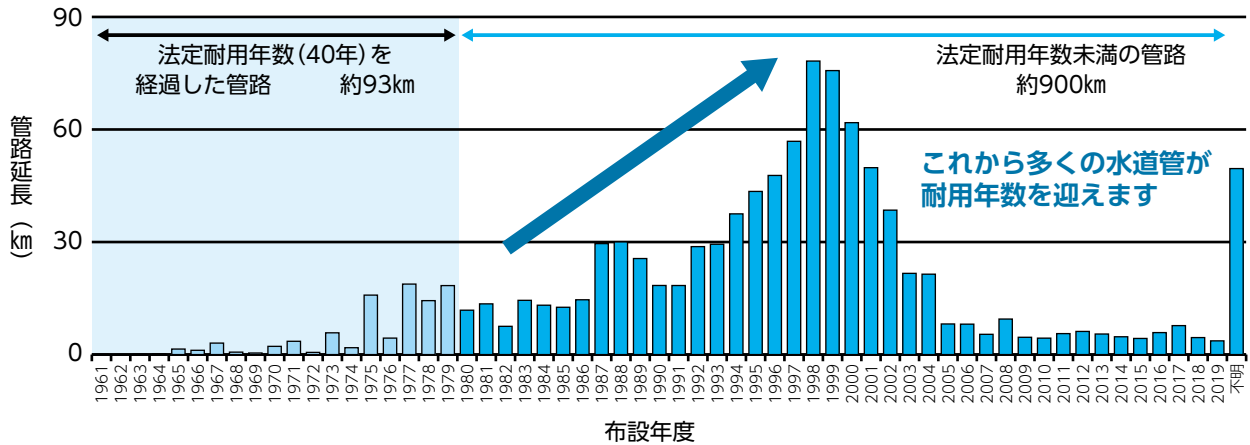
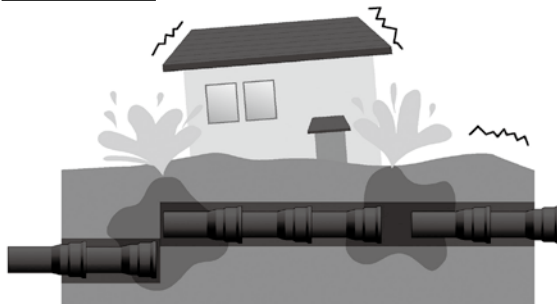


水道管布設年度別延長 (2019年度末)



●毎年、全国各地で地震が発生していますが、豊岡市の基幹管路の耐震化率は16.8%と、全国平均40.9%を大きく下回っています(2019年度末現在)。このため、老朽化した施設の更新と併せて耐震化を進め、地震時の生活用水・消火用水の確保に努めます。

古い水道管



古い水道管では地震で揺れると管が抜けて漏水してしまう

耐震管



地震が起きても抜けにくい

水道料金改定の詳細は市ホームページをご覧ください →



下水道を正しく使いましょう

《下水道に関する問合せ》

下水道課 ☎22-1801

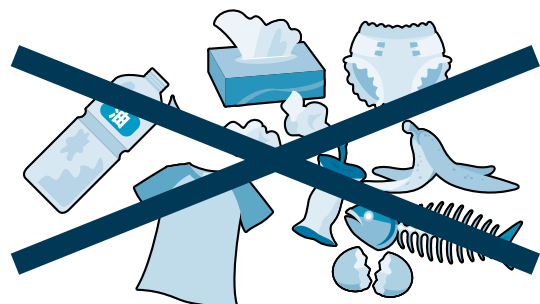
下水道にトイレペーパー以外の水に溶けない紙や、油類、固形物などを流すと、下水道管が詰まります。最近、下水道管やポンプに異物が詰まる事故が多発しています。その修理には多額の費用がかかり、使用している人に大変迷惑をかけるので、次のものは流さないようにし、下水道を正しく使いましょう。

●下水道に流してはいけないもの

- 水に溶けない紙(ティッシュペーパー・ウェットティッシュなど)
- 衛生用品(生理用品・紙おむつなど)
- 調理のくず・食べ残し
- 揚げ物の残り油(サラダ油など)
- 薬品類・灯油など油類
- タオル・衣類等の布製品

●下水道に未接続の方は一日も早い接続を

下水道に接続すると川や海が美しくなり、まちがきれいになります。美しい自然環境を未来に残すのは、私たちの責務です。下水道に未接続の方は一日も早い接続をお願いします。



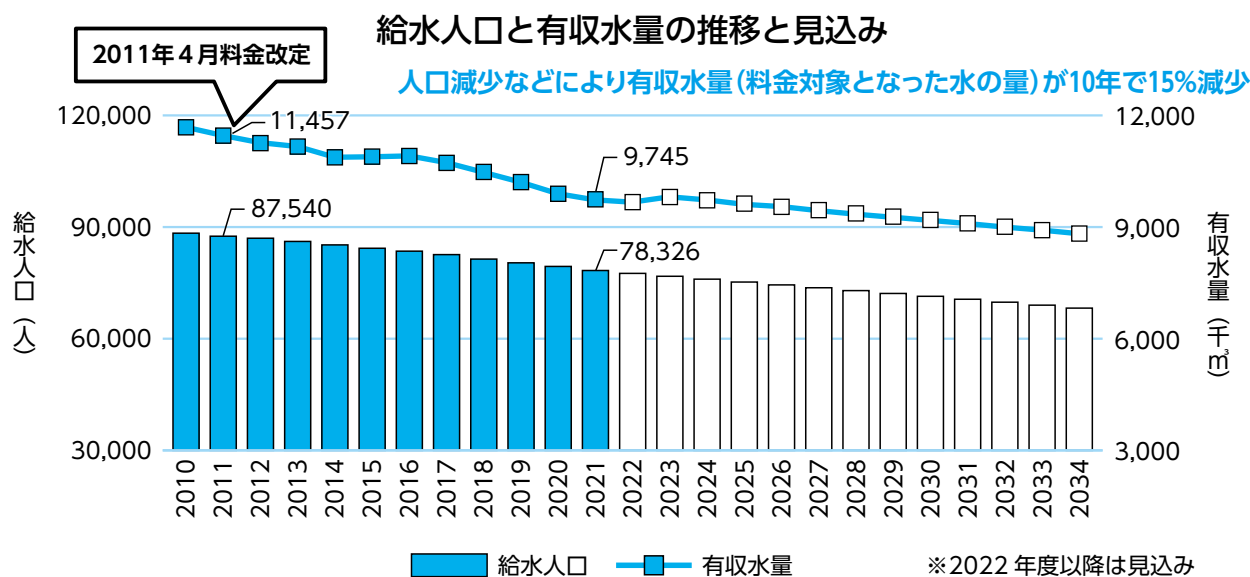
台所やトイレに異物を流さない

# 水道事業の課題と今後の取り組み

## 課題1 水需要(料金収入)が減少しています

### 今後の取り組み → 施設規模を縮小し、維持管理費の効率化に取り組みます

- 水需要および水道料金収入は主に人口減少に伴い減少を続けており、今後もその傾向は続く見込みです。このため、やむなく料金改定をお願いすることになりましたが、市ではこれまでに、料金等賦課徴収業務、浄水場運転管理業務等の民間委託や、組織再編による職員数の削減等を行ってきました。また、日高町小河江飲料水供給施設、但東町水石浄水場など、施設の統廃合による経費削減に取り組んできました。
- 今後、施設改修に併せた城崎給水区の統廃合のほか、日高給水区の再編の検討を進め、さらに施設規模を縮小し、維持管理の効率化に取り組みます。
- その他、近隣市町との連携など、さらなるコスト縮減・業務効率化について、検討・実施していきます。



## 課題2 施設の老朽化が進んでいます

### 今後の取り組み → 適切に施設の更新や耐震化を進めます

- 過去に集中的に整備した水道管などの施設の老朽化が進み、漏水・断水などの事故が発生するおそれが高くなるため、適切に更新を進めます。



老朽化による配水管からの漏水  
(2018年 豊岡市内)



市道地下埋設管から漏水  
(2021年、豊岡市内)